九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Neuromagnetic correlates of hemispheric specialization for face and word recognition

稲水, 佐江子

https://hdl.handle.net/2324/4060048

出版情報：九州大学, 2019, 博士（医学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：© 2019 The Authors. Published by Elsevier B.V. This is an open access article under the CC BY-NC-ND license

氏　　名：稲水　佐江子

論 文 名：Neuromagnetic correlates of hemispheric specialization for face and word recognition
（顔と文字認知における半球特殊化の神経磁気的脳内基盤）

区　　分：甲

論　文　内　容　の　要　旨

成人の人間の脳は、顔や文字の視覚処理のために特殊で独立した神経システムを持っている。顔の視覚処理には右半球（RH）の選択性が高く、文字の視覚処理は左半球（LH）の選択性が高い。それにもかかわらず、未だ半球間の機能的な違いはほとんどわかっていない。顔と文字認知の半球特異性を解明するために、若年成人を対象に、右視野または左視野に顔と文字を呈示し、それを受動的に見ている間の事象関連脳磁場（ERF）を記録した。もし、顔認知と文字認知の神経基盤が同様の側方性の性質を反映していれば、M170 成分の脳磁場の信号源は、顔に対しては右半球で反応が大きく、文字に対しては左半球で反応が大きいという結果が生じる。今回我々は、予測と一致して文字に対する M170 は左半球でより大きいことを観察できた。予想外に、顔に対する右半球での大きな M170 反応はみられなかった。したがって、特殊性という点で、顔認知の半球組織化は、文字認知のそれとは異なる。